


オンラインセミナー (Zoom)

レガシーシステム脱却を成功に導く 上流工程の進め方

LINPRESS

A portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark blue suit, a white shirt, and a pink striped tie. He is looking slightly to the left of the camera with a neutral expression.

株式会社リンプレス
パフォーマー 川上 淳一

本日のアジェンダ

- 企業におけるITシステムの現状
- IT部門が担うべき役割
- 要求（事業要求、デジタル要求）を具現化する
（CANVAS-SA[®]）
- 具現化の ステップ1（背景の確認と共有化）

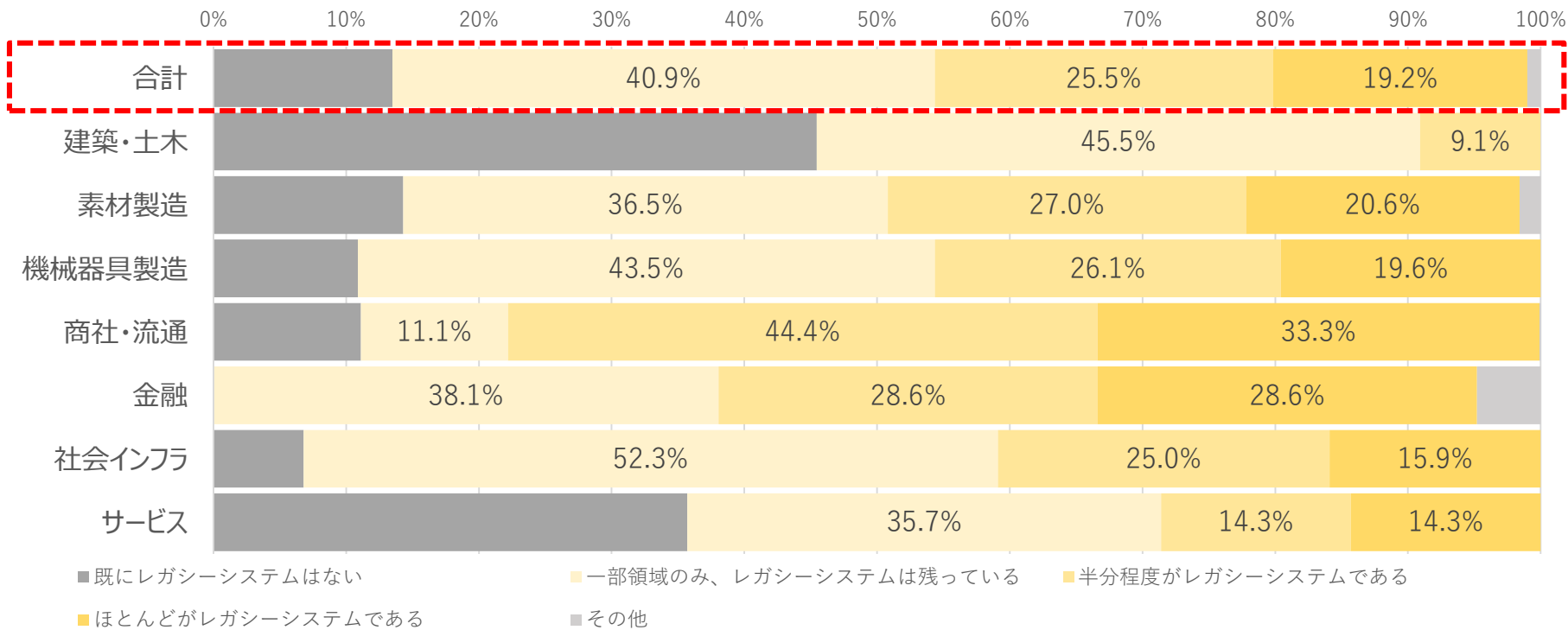
企業におけるITシステムの現状

企業のレガシーシステム保有状況

ある調査によると製造業の約8割がレガシーシステムを抱えており、それによりDX推進を阻害されていると指摘しています。

IT部門にとってレガシーシステム刷新は急務ですが、これまで主に保守を担当していたのでIT構想や企画のやり方が分からない、有識者がいないため大規模システム刷新に自信がないといった課題が多く企業で見られています。

8割近い企業がレガシーシステムを抱えている



出典：日経BP総合研究所『製造業DX調査レポート』（参考記事：<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00001/05463/>）をもとに弊社で作図

我々を取り巻く環境



現行業務の運用・保守で手一杯

DXプロジェクトのリーダー不在

IT部門の高齢化が進んでいる



経営者がIT投資に消極的

IT予算のほとんどが
保守費用に消費

業務部門のIT力が低い



自社にIT企画提案できる
人材が不在

ITベンダーに要件定義を丸投げ

ITベンダーにも人材が不足



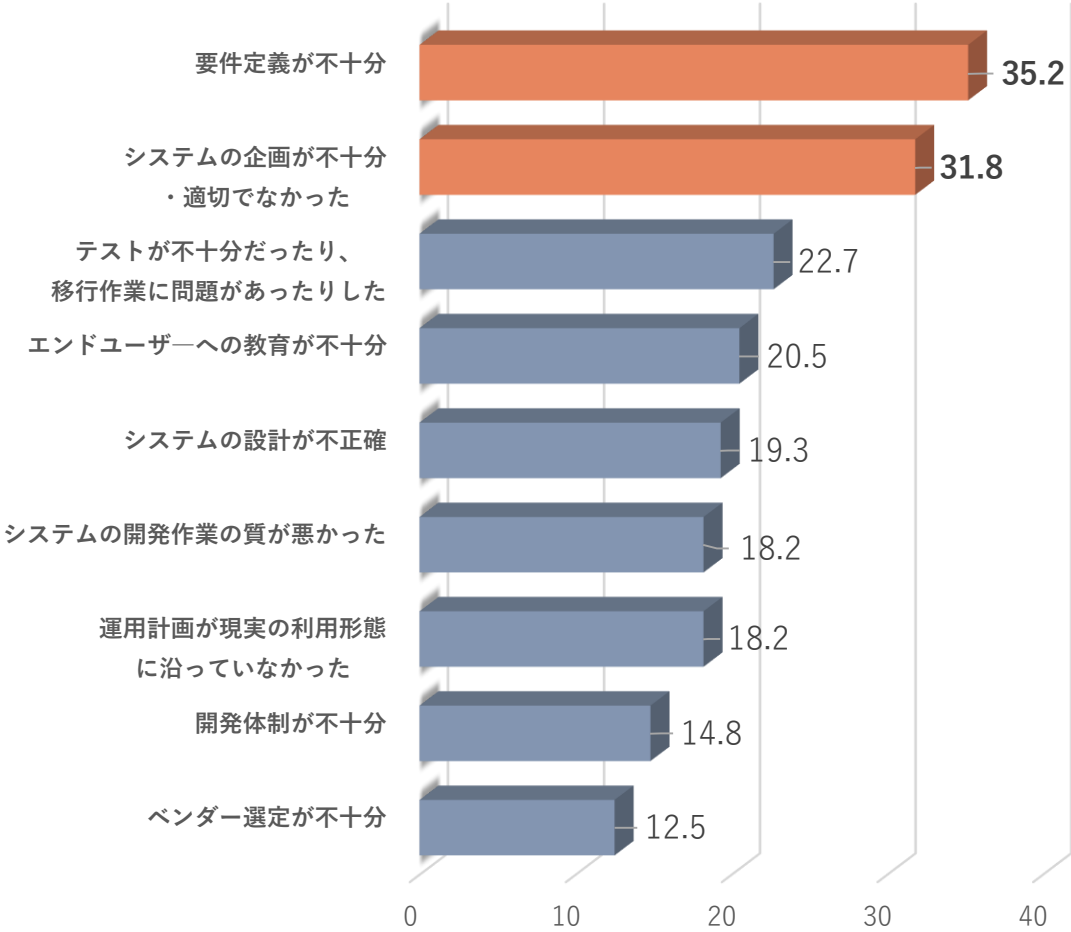
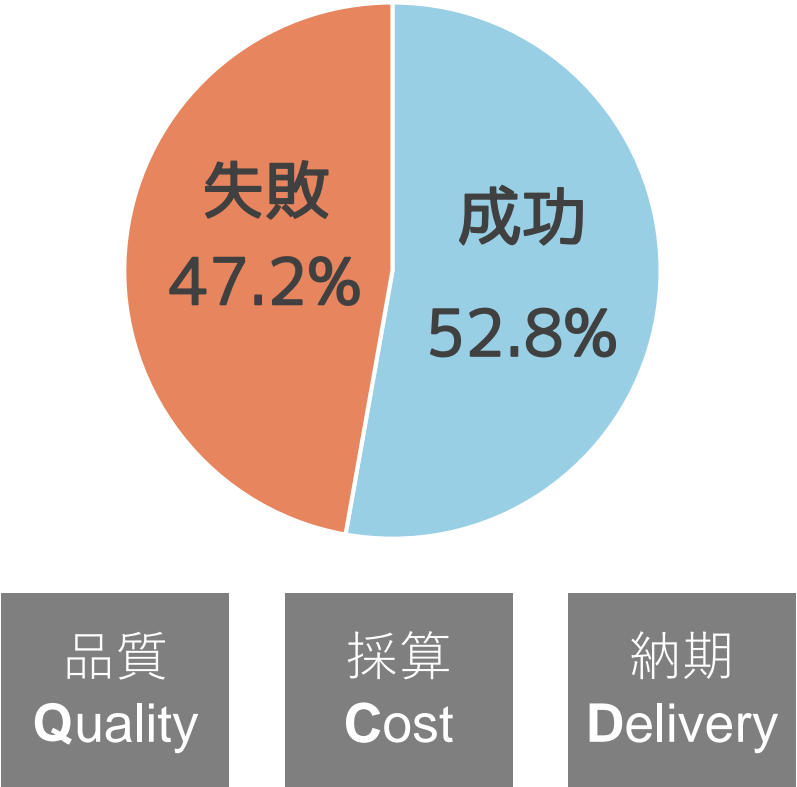
人材育成に割くマンパワーそのものが不足している

システム開発プロジェクトが失敗する理由

下記のデータから、企画や上流工程を原因としたITシステム構築/導入に失敗が多く、DXを推進しようにも積極的になれない日本企業の実態が見て取れる。

失敗の原因

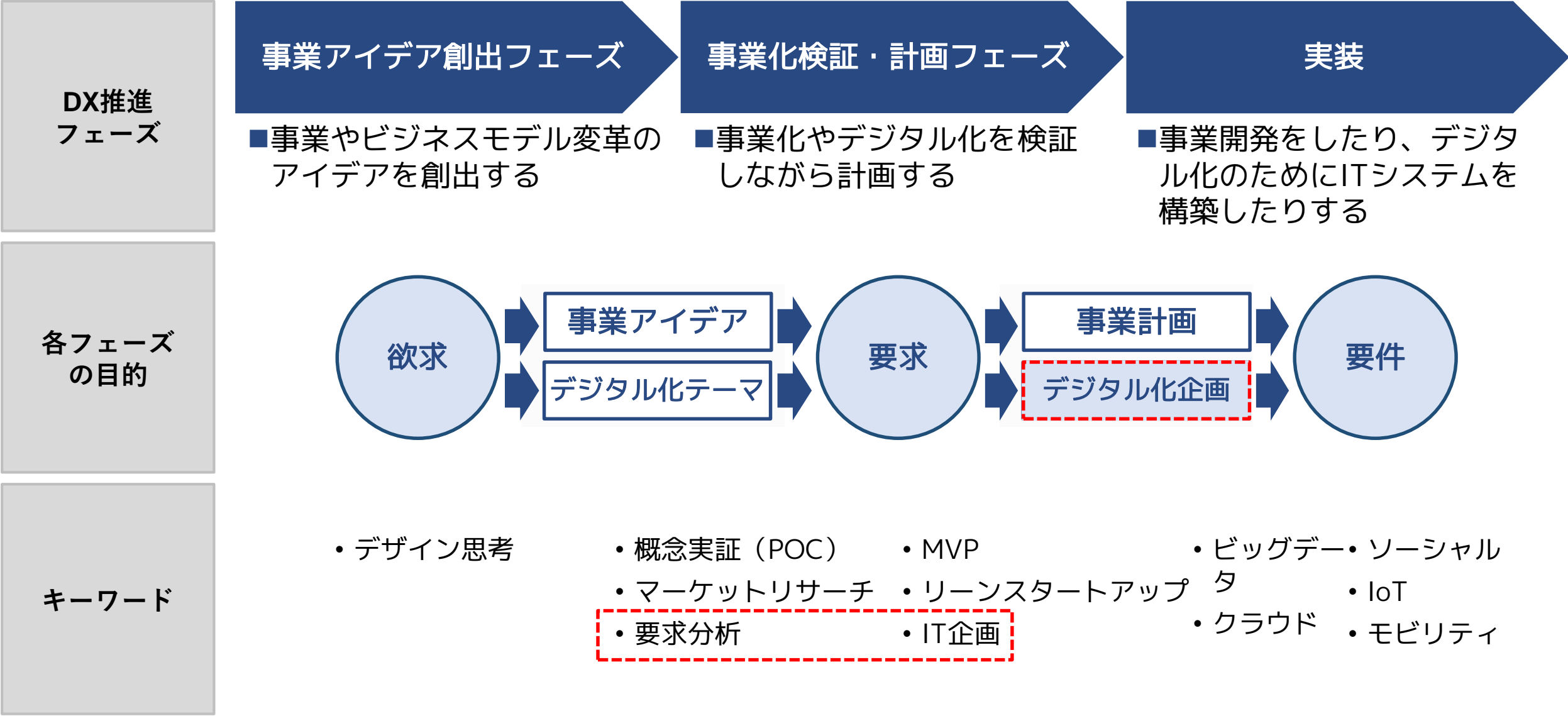
失敗の確率（2018年）



出典：日経コンピュータ『ITプロジェクト実態調査2018』をもとに弊社で作図

IT部門が担うべき役割

DX推進に関わるIT化構想・実現の順序



IT部門が抱える課題

十数年ぶりにシステム再構築を行う

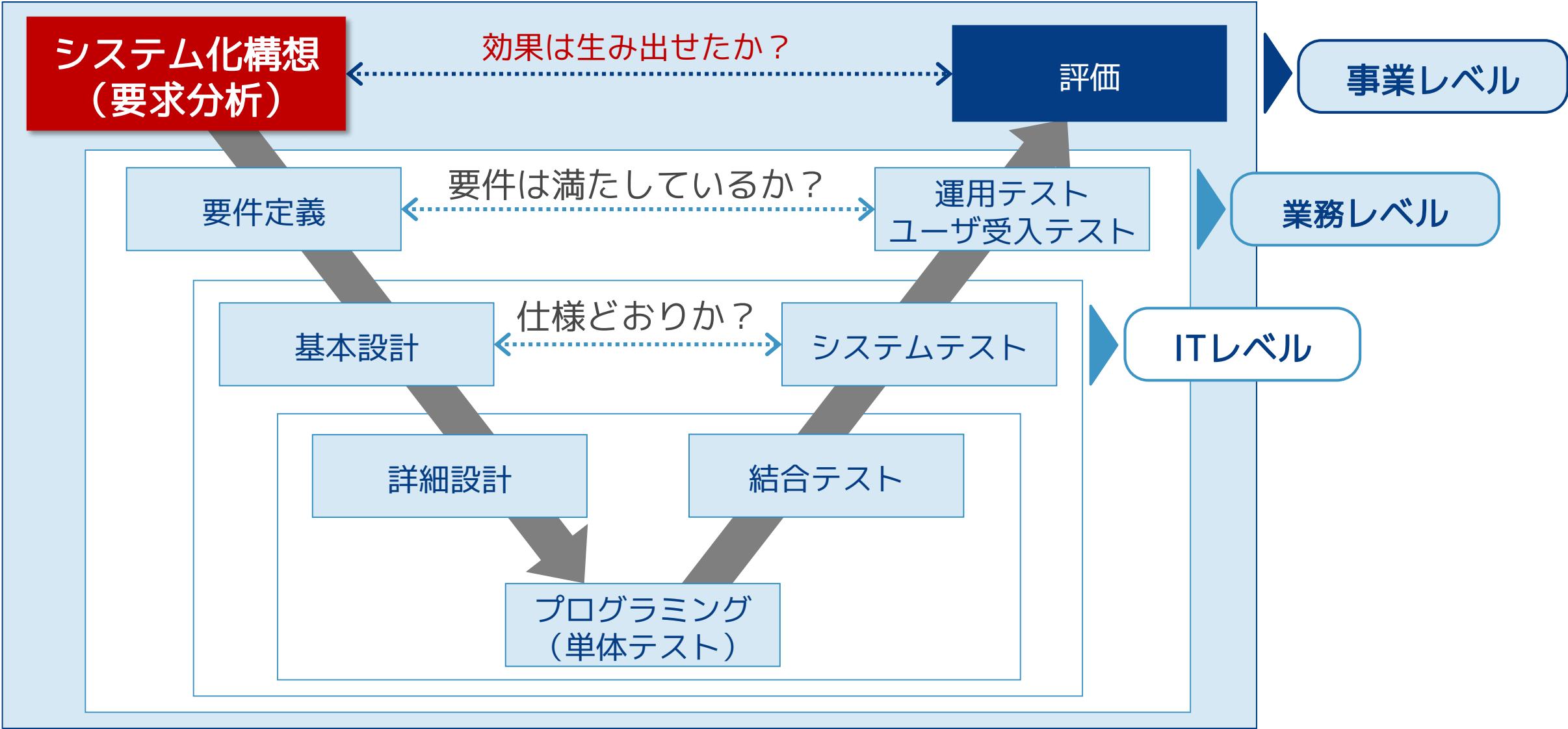


- ・ 現行システムの有識者が居ない
- ・ これまで主に保守を担当していたので、IT構想や企画のやり方が分からない
- ・ 何から手を付けるべきか分からない

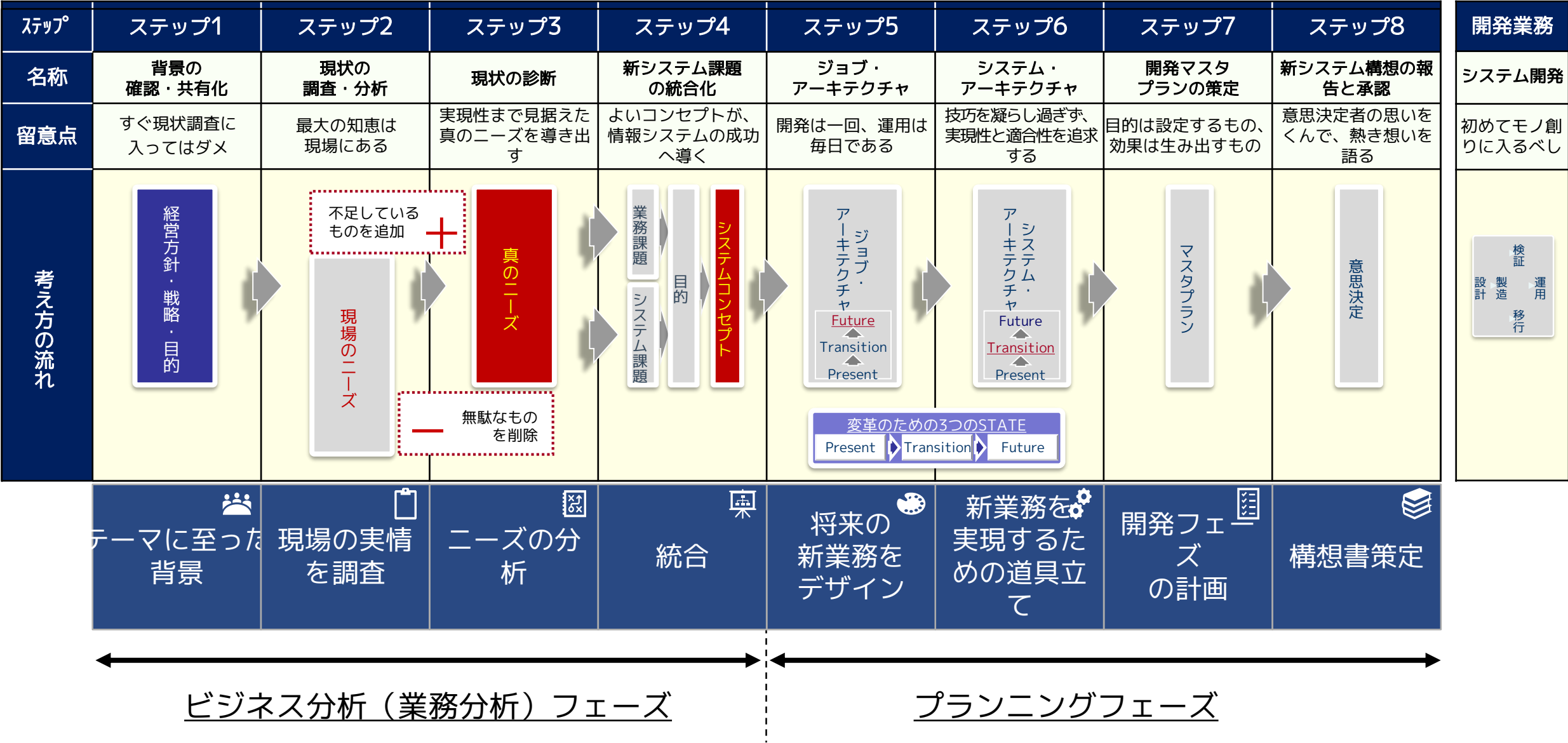
このような状況でも、IT部門が上流工程をきちんと出来ないといけない

要求（事業要求、デジタル要求）を具現化する

情報システム開発のライフサイクル

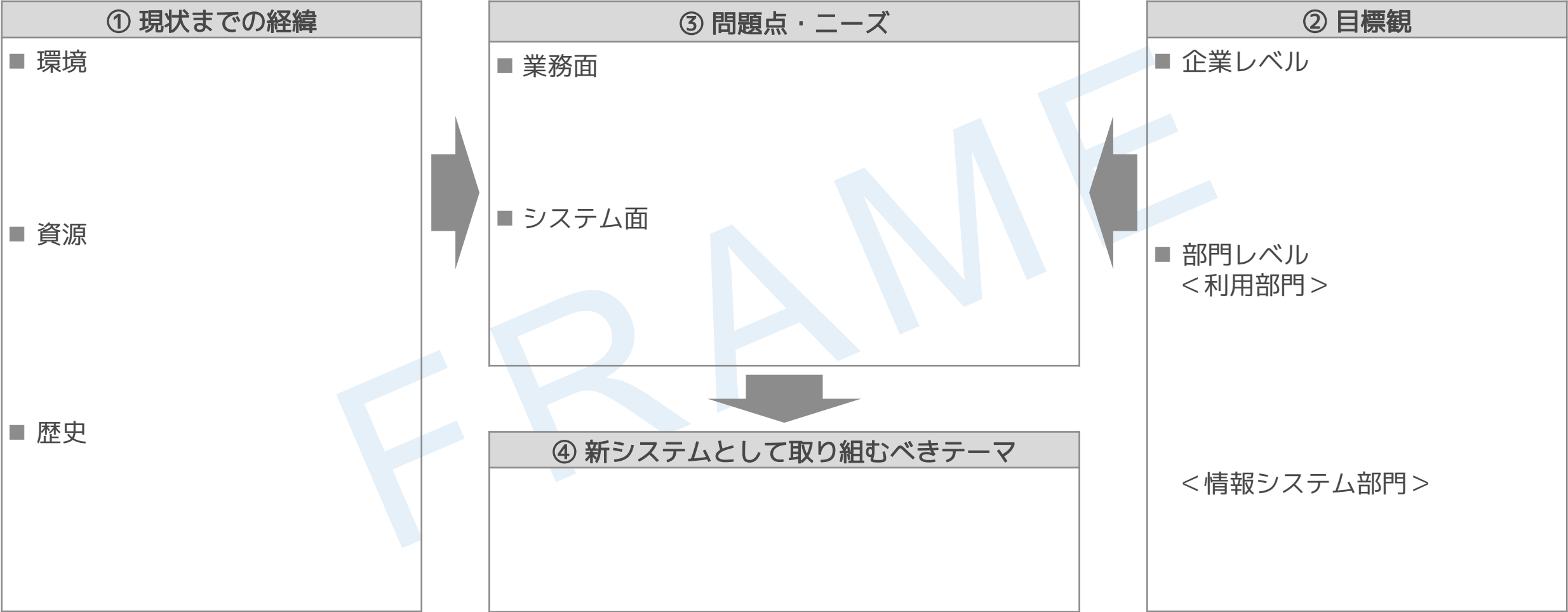


2. 上流工程方法論「CANVAS-SA[®]チャート」



具現化の ステップ1 （背景の確認と共有化）

W1-2-1	背景確認シート		作成日	年	月	日	
部門名		業務名	作成者				



⑤ トップの意向	
<div>■ 価値観</div> <div>■ 情報システム投資</div>	

W1-2-1	背景確認シート	(書き方の例)		作成日	年	月	日
部門名		業務名		作成者			

① 現状までの経緯	③ 問題点・ニーズ	② 目標観
<div>■ 環境</div> <ul style="list-style-type: none"> 競合状況など、自社を取り巻くビジネス環境（外部環境） 小回りが利くなど、自社の特徴（内部環境） <div>■ 資源</div> <ul style="list-style-type: none"> 経営諸資源（人・物・金・情報） 特に情報システムの有無、年間投資額、人材、周りの理解など <div>■ 歴史</div> <ul style="list-style-type: none"> 社長交代 トップの歴史的な決断 情報システムの歴史 	<div>■ 業務面</div> <ul style="list-style-type: none"> データはあるのに欲しい情報が出てこない 運用が複雑で、業務がITシステムに振り回されるなど、業務遂行上うまくいっていないことや要望 <div>■ システム面</div> <ul style="list-style-type: none"> データの単位が大雑把である 夜間バッチ処理が翌日の朝までかかる 運用コストが増大している など、うまくいっていないことや要望 	<div>■ 企業レベル</div> <ul style="list-style-type: none"> 受注件数を10%増やす 利益を5%上げる など、企業ビジョンや戦略に直結する企業目標（ありたい姿） <div>■ 部門レベル</div> <p><利用部門></p> <ul style="list-style-type: none"> 残業を半分に 客の問い合わせに30分以内に答える 納期を一日短縮する など、効果的な業務のあり方 <p><情報システム部門></p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザクレームをゼロにする 携帯電話を不要にする 金を稼ぐ部門になる など、効果的な業務のあり方
<div>④ 新システムとして取り組むべきテーマ</div> <ul style="list-style-type: none"> 契約書に基づいた情報提供により、的確な売掛管理を可能にする など、上記③を解決し②になるような内容を考える 		
<div>⑤ トップの意向</div> <div>■ 価値観</div> <div>■ 情報システム投資</div>	<ul style="list-style-type: none"> 顧客満足、敵に手強い相手と思わせる など、企業の価値観・倫理観・戦略 管理水準の向上、社員の情報武装強化、情報システム投資 など、トップの期待 	

※本例はボックスごとの例であり、ボックス間の関連はありません。

IT企画研修1Day型「SA教室」

IT・DXに必要なIT企画・立案手法を学ぶ、
IT企画・立案研修
SA教室（1Day型）

詳細を見る



SA教室



講義



事例



理論・モデル

受講料金：55,000円（税込）1Dayコース

https://www.linpress.co.jp/lp_sa

次回

2022年 **11**月**15**日(火)

2022年 **12**月**13**日(火)

2023年 **2**月**17**日(金)

2023年 **3**月**16**日(木)

オンライン開催（Zoom）

実践・体験型 IT企画研修「STUD-SA」

次回

2023年1月19日(木)

~20日(金)

オンライン開催 (Zoom)

実践を通してIT企画・上流工程を学ぶプログラム

実践・体験型IT企画研修

STUD-SA (オンライン2日間コース)



STUD-SA



講義



演習



理論・モデル

受講料金：110,000円（税込）2日間コース

https://www.linpress.co.jp/lp_sa